

プログラム

日時:平成30年11月10日(土)
13:00~17:00(受付12:00~)

12:00~13:00 開場受付 **入場無料**

13:00~13:10 開 会

開会挨拶 済生会 炭谷 茂 理事長

13:10~14:10 基調講演

「地域の緑側づくり」一法に適い、知に適い、情に適うー
●講師
社会福祉法人慈愛園 理事長 潮谷 義子 氏

14:10~14:20 休憩

14:20~16:40 シンポジウム

地域共生社会に向けた生活困窮者支援
～就労支援の取り組みとその課題～

- コーディネーター
山口県立大学 社会福祉学部 教授 草平 武志 氏
- シンポジスト
山口市健康福祉部長 兼 福祉事務所長 有田 稔子 氏
山口公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官 河野 和成 氏
社会福祉法人 太陽の家 理事長 山下 達夫 氏
農業生産法人(株)えちご棚田文化研究所 代表取締役 岩崎 欣一 氏
全国済生会刑余者等支援推進協議会 会長 篠原 栄二 氏

16:40~16:55 ディスカッション

17:00 閉 会

会場へのアクセス



新幹線でお越しの方は、新山口駅で下車

防長バス (山口方面行き)	大橋停留所下車(バス乗車時間約30分、徒歩約5分) ※新山口駅在来線側バス乗り場2番より、維新公園、陸上競技場、湯田温泉、山口市街方面行きのバスに乗車
JR山口線に 乗り換え (山口・益田 方面行き)	矢原駅下車(JR乗車時間約15分) 駅から約2km 徒歩約25分 ※タクシーの常駐なし 湯田温泉駅下車(JR乗車時間約20分) 駅から約2km 徒歩約25分 ※タクシーの常駐有り(タクシーをご利用の場合約7分)
タクシー	約25分

お車をご利用の場合

- 中国自動車道 小郡 IC から約6Km
- 山陽自動車道 防府東 IC から約25Km

飛行機でお越しの方は、山口宇部空港へ

- 宇部市交通局 (バス) 山口宇部空港~新山口駅 所要時間約45分
- JR(宇部線) 草江駅 ~ 新山口駅 所要時間約40分

主催: 社会福祉法人 済生会支部山口県
済生会山口地域ケアセンター

後援: 山口県、山口市、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、社会福祉法人山口市社会福祉協議会、山口公共職業安定所、山口刑務所、山口保護観察所、山口大学、山口県立大学、山口県老人福祉施設協議会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、山口ケーブルビジョン株式会社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、山口新聞社

お問合せ先: 済生会山口地域ケアセンター 083-924-6689(代)



社会福祉法人 済生会支部山口県
済生会山口地域ケアセンター

社会福祉法人 済生会支部山口県
済生会山口地域ケアセンター



地域共生社会に向けた生活困窮者支援
～就労支援の取り組みとその課題～

平成30年度

in Yamaguchi

第7回生活困窮者問題シンポジウム

日時:平成30年11月10日(土) 13:00~17:00
(受付12:00~)

場所:山口県総合保健会館 多目的ホール
〒753-0814 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

テーマと目的

「地域共生社会に向けた生活困窮者支援 ～就労支援の取り組みとその課題～」

済生会では、無料低額診療事業の実施とともに平成22年度から生活困窮者支援事業（なでしこプラン）を実施してきました。

昨今では、病気や障害等の様々な要因で失業や就職難となり、地域で安定した生活を送ることができず、生活困窮の状態に陥る人たちが存在しています。また、刑務所出所者等の社会復帰の支援体制や整備が進められるなかで、地域住民の不安、受入体制・社会資源の不足等、多くの課題が明らかになってきました。

今回のシンポジウムでは「地域共生社会に向けた生活困窮者支援～就労支援の取り組みとその課題～」をテーマに、支援に取り組む団体・行政等からの報告や課題を共有し、今後、どのような視点や取り組みが求められるかを考えていくことにしています。

ごあいさつ


社会福祉法人 済生会 理事長  炭谷 茂 氏

済生会は、生活困窮者に対する支援を全国で展開していますが、生活困窮者の問題は、増加する一方、解決が難しくなっています。そこで効果的な取り組み方法を探さなければなりません。シンポジウムで参加者の方々の英知を結集すれば、きっと有益な答えが出されると期待しています。

基調講演

「地域の縁側づくり」 一法に適い、知に適い、情に適う

講師

社会福祉法人 慈愛園 理事長  潮谷 義子 氏


現職
社会福祉法人 慈愛園 理事長
NPO スペシャルオリンピックス熊本 理事長
大学法人 国立大学熊本大学 役員

役職
社会福祉法人 済生会 理事
社会福祉法人 日本保育協会 理事
公益財団法人 人権教育啓発推進センター 顧問
特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会 評議員

シンポジウム

コーディネーター

山口県立大学 社会福祉学部 教授


 草平 武志 氏
現職 山口県立大学 社会福祉学部 教授
役職 山口市すこやか審議会 委員長
山口県社会福祉協議会 評議員
山口県社会福祉事業団 評議員 など

専門領域は、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク、住民主体のまちづくりについて研究している。地域貢献活動として、介護保険制度発足以後今日まで、山口市基幹型地域包括支援センター、山口市介護サービス提供事業者連絡協議会等関係機関の活動協力を通じて、保健福祉対人援助専門職の専門性向上について関与している。

シンポジスト

01 山口市における 就労支援の取り組み


山口市健康福祉部長 兼 福祉事務所長

 有田 稔子 氏

山口市役所へ保健師として入庁。地域保健業務に19年間従事し、平成12年に高齢福祉部に配属。その後、健康増進課長、健康づくり・社会福祉担当理事等を経て平成29年度から現職。

02 職業紹介の立場から現場における 現状・問題点について


山口公共職業安定所専門援助部門 統括職業指導官

 河野 和成 氏

平成4年からハローワークにて勤務、職業紹介・学卒関係・求人・雇用保険部門等担当。生活困窮者支援につきましては平成30年4月から担当へ。

03 共生の時代 ～No Charity, but a Chance!～


社会福祉法人 太陽の家 理事長

 山下 達夫 氏

1歳の時に高熱が続きポリオとなり車椅子生活となる。1984年IT関連企業である三菱商事太陽㈱に入社し、2014年代表取締役社長に就任。2018年退任と同時に太陽の家理事長に就任し「太陽の家が共生社会の先進モデルとなり、取り残される障害者のいない社会を実現する」ことを目標に掲げ、近年は、特に精神障がい者、発達障がい者の雇用に力を入れている。

04 農業の楽しさ、 心と体の安らぎ


農業生産法人 榎えちご 棚田文化研究所 代表取締役

 岩崎 欣一 氏

新潟の農山村で刑余者や障がい者が生きていける術をゆったり実践しています。水田農業、加工(山菜、梅干、魚醤油)、食品(塩・砂糖)輸入卸業。

05 済生会が取り組む 刑余者支援

全国済生会刑余者等支援推進協議会 会長
済生会山口地域ケアセンター 特別顧問
済生会保健・医療・福祉総合研究所 上席客員研究員

 篠原 栄二 氏

社会福祉法人として「生活困窮者支援活動」の一環で、受刑者や刑務所等出所者への支援活動を全国に広げる活動に取り組んでいる。特に、就労支援・住まいの確保・個別支援について力を入れている。

済生会山口地域ケアセンター 事務局 行

FAX 番号：083-924-2126

第7回 済生会生活困窮者問題シンポジウム参加申込書

申込日：平成30年 月 日

勤務先名称 _____

申込担当者 _____

連絡先 TEL: _____

FAX: _____

※必ずご記入ください

(参加者)

所属・職名	氏名

◇ 平成30年10月19日（金）13時00分までに FAX でお申込みください